



CHIBABANK

EUインサイト

2019年5月号

欧州議会選挙について

千葉銀行ロンドン支店

1. はじめに

英国では Brexit（英国の EU 離脱）による混乱が長引き、決められない政治を憂慮する空気が流れています。そのような最中、Brexit の先行きを含め、EU（欧州連合）全体の今後を左右する可能性もある欧州議会選挙が 5 月 23～26 日にかけて行われます。当初、Brexit が 3 月までに決着し、英国は参加しないと思われておりましたが、Brexit の期限を 10 月末まで延期したため、英国が参加することになるなど状況は変化しており、結果に対する注目度が高まっております。

2. そもそも欧州議会の役割とは

EU は 1993 年のマーストリヒト条約の発効によって設立された、加盟国 28 カ国による地域統合体であり、以下の通り目的毎に分かれた機関によって構成されています。今回の EU インサイトは、欧州議会選挙についてお伝えしたいと思います。

機関	構成	役割
欧州理事会	加盟国の国家元首または政府の長、欧州理事会議長、欧州委員会委員長	EU の一般的な政治指針を決定
欧州委員会	一加盟国あたり一人の委員が選出	法案の提出や決定事項の実施など EU 法の施行と遵守を担当
欧州連合理事会	議題毎に加盟国政府の閣僚が出席	立法、加盟国の政策調整、EU の共通外交・安全保障政策、国際協定の締結、EU の予算の採択など政策指針を決定
欧州議会	各国の EU 市民による直接普通選挙によって選任された議員	欧州連合理事会と共同の立法行為等を担当

3. 欧州議会の枠組み

欧州議会は、上記の通り、現在 28 カ国の代表で構成されています。他の機関は各国の国家元首や担当閣僚などが担うのに対し、欧州議会は各国の EU 市民による直接普通選挙によって選任された議員により構成され、EU 市民の民意を反映する目的で設立されました。①欧州の法案を欧州連合理事会と共同で決定、②EU のその他の機関や当局を民主的に監督、③欧州連合理事会と予算を審議・決定、等の役割をもっています。

欧州議会の議席については、人口構成などに応じて予め加盟国間で配分されており、有権者は自国の政党に投票する比例代表制が採用されています。単純に人口に応じて振り分けてしまうと極端に議席が少ない国が出てしまうため、人口の少ない国には正確に比例配分するよりも多くの議員数が配分されます。現在の国別の議席の状況は次頁の通りです。なお、2018 年 2 月の欧州議会にて英国が離脱する前提で、英国の議席の減少分の取り扱いが一旦決められたものの、英国が正式に欧州議会選挙への参加を表明したことから、今回の配分は前回と同様になりました。

【表①. 欧州議会選挙の議席配分数】

国名	2014年	2019年	増減
		英国脱退後	
ドイツ	96	96	0
フランス	74	79	5
イギリス	73	0	-73
イタリア	73	76	3
スペイン	54	59	5
ポーランド	51	52	1
ルーマニア	32	33	1
オランダ	26	29	3
ベルギー	21	21	0
チェコ	21	21	0
ギリシャ	21	21	0
ハンガリー	21	21	0
ポルトガル	21	21	0
スウェーデン	20	21	1
オーストリア	18	19	1
ブルガリア	17	17	0
デンマーク	13	14	1
フィンランド	13	14	1
スロバキア	13	14	1
アイルランド	11	13	2
クロアチア	11	12	1
リトアニア	11	11	0
ラトビア	8	8	0
スロベニア	8	8	0
エストニア	6	7	1
キプロス	6	6	0
ルクセンブルク	6	6	0
マルタ	6	6	0
計	751	705	-46

27議席を再配分、
46議席は定数から削減
英国が脱退しない場合、
2014年の配分により
選挙実施

議員数750人+議長1人

出典：European Parliament HP

参考までに、欧州議会選挙に英国が不参加であった場合、27議席が上記の通り再配分され、46議席は削減される予定でした。

また、欧州議会においては、各国の議員が会派を結成します。会派は国ごとではなく、政治思想が近い議員で構成される政党やグループにより構成されています。現在、欧州議会は8つの会派+無所属議員で構成されており、議員数等の内訳は次頁の通りです。なお、会派を構成するには、その会派の議員の出身国が全加盟国の4分の1、合計人数が25人以上でなくてはならないという決まりがあります。

現在、議会はドイツのメルケル首相が率いるキリスト教民主同盟（CDU）等が所属する欧州人民グループ（217人）、ドイツの中道左派（穏健な左派・富の再配分や福祉、社会保障の充実を肯定）である社会民主党（SPD）やフランスの中道左派である社会党が所属する社会民主進歩同盟グループ（186人）が2大会派となっており、過半数を占めています。

【表②. 現在の会派の状況と欧州議会が発表した直近予測】

会派	主義	現在		2019/4/18予測	
		議員数	シェア	議員数	シェア
EPP(Group of the European Peoples's Party) 欧州人民党グループ	保守・キリスト教 民主主義	217	28.9%	180	24.0%
S&D(Group of the Progressive Alliance of Socialists and Democrats in the European Parliament) 社会民主進歩同盟グループ	社会民主主義	186	24.8%	149	19.8%
ECR(European Conservatives and Reformists Group) 欧州保守改革グループ	保守主義	76	10.1%	66	8.8%
ALDE(Group of the Alliance of Liberals and Democrats for Europe) 欧州自由民主同盟グループ	自由主義・中道	68	9.1%	76	10.1%
GUE/NGL(Confederal Group of the European United Left-Nordic Green Left) 欧州統一左派・北方緑の左派グループ	共産主義・極左	52	6.9%	46	6.1%
Greens/EFA(Group of the Greens/European Free Alliance) 欧州緑グループ・欧州自由連盟	環境配慮・地域主義	52	6.9%	57	7.6%
EFDD(Europe of Freedom and Direct Democracy Group) 自由と直接民主主義のヨーロッパ	欧州懐疑主義	41	5.5%	45	6.0%
ENF(Europe of Nations and Freedom Group) 国家と自由の欧州	極右・国民主義	37	4.9%	62	8.3%
NI(Non-attached Members) 無所属	-	21	2.8%	8	1.1%
その他	-	-	-	62	8.3%
		750※		751※	

※現在は議長除く、予測は選挙後選任されるため議長含む

出典：European Parliament HP

4. 欧州議会選挙の注目点

(1) 選挙のスケジュール

欧州議会選挙は、5年に1度、欧州連合に加盟する28カ国で行われます。1979年にEU市民による直接選挙が導入され、今回が9回目の選挙となります。上述の通り、今回の選挙は2019年5月23～26日にかけて行われ、選挙結果は27日に公表されます。選挙後、当選した議員は会派結成のための交渉を行い、7月2日に新欧州議会が召集されます。新欧州議会では議長、その他役職者が選出され、5年間(2019-2024)の新たな期が始まります。

(2) 選挙結果に対する注目点

今回の欧州議会選挙は、反既成政党がどの程度議席数を伸ばすかが注目されます。表②には、欧州議会のホームページで発表された最新(4月18日時点)の議席配分を記しました。この予想に基づきますと、長らくEPP、S&Dの2大政党で過半数を占有してきた構造が崩れ、代わりに極右政党であるENFや欧州懐疑主義であるEFDDが票を伸ばすこととなります。ENFにはイタリアの「同盟」やフランスの「国民連合」など極右政党が所属し、EFDDにはイタリアのポピュリスト政党である「五つ星運動」、ドイツの反EU政党である「ドイツのための選択肢」等が所属しています。いずれも大衆迎合主義的なポピュリスト政党としての色が濃く、欧州各国の政治

状況と似たような結果になることが予想されます。元々欧州議会選挙は EU 市民の関心が高い選挙ではなく投票率の低下が続いており、批判的・反 EU 的な意見を持つ政治に関心が高い有権者の票が集まりやすい傾向にあることも、このような予想をもたらす一因といえそうです。

ポピュリスト政党が票を伸ばした場合、議会運営が複雑化・不透明化することが予想されます。欧州議会は前述の通り、欧州連合理事会とともに立法行為や予算・人事等で権限を持ちますが、基本的に議決は過半数によるため、今後は連立交渉や政策ごとの折衝がより難しいものになるでしょう。

(3) Brexit への影響

英国は Brexit の期限を 10 月末まで延期したため、EU 加盟国である間は欧州議会選挙に参加しなければなりません。参加しなければ、6 月 1 日に EU から「合意なき離脱」となってしまうため、英国は渋々参加するような形になります。しかしながら、BBC（英国放送協会）の報道では選挙費用は 109 百万ポンド（約 158 億円）かかると試算されており、EU 離脱推進派から「時間と金の無駄」と批判されています。Brexit を成し遂げられず、決められない政治状況が続くことで政府・与党（保守党）への不満は高まっており、直近の世論調査では、発足間もない新党であるファラージ英独立党元党首が率いる「ブレグジット党」が首位に、野党労働党が 2 位、保守党は 3 位という結果になりました。欧州議会では保守党は ECR、労働党は S&D に所属、ブレグジット党は EFDD に所属しています。なお、野党労働党は欧州議会選挙の公約として、国民投票の再実施を掲げています。

こういった状況を受け、欧州議会選挙は人気投票になりやすい傾向を持つことから、形を変えた国民投票とみなす報道もあり、欧州議会選挙の結果次第では、メイ首相に圧力がかかる可能性があります。

5. 欧州議会選挙の注目点

近年、移民排斥、反イスラムなどの主張が支持を受けるようになり、イタリアやフランスなど様々な国でポピュリスト政党が躍進する動きが続きました。欧州議会選挙にもその波が来ることで、一層政治的に難しい状況に陥ることが予想され、かつ欧州議会は任期が 5 年のため、影響は中長期的に続きそうです。

また、欧州議会選挙後、欧州委員会の委員長が選出されます。欧州議会選挙後の会派の状況次第では、委員長の人選に影響が出る可能性があります。加えて、ユーロ圏 19 カ国の金融政策を担う ECB（欧州中央銀行）総裁の任期が 10 月末となっており、慣例的に欧州委員会委員長と ECB 総裁の出身国は別になるため、欧州議会選挙の結果如何で ECB 総裁人事にも影響が出る可能性があります。上記のように欧州議会選挙の結果は、Brexit の動向にも影を落としそうです。金融市場にもインパクトを与える可能性があるため、動向を注視していきます。

【参照ウェブサイト】

- EUROPEAN ELECTIONS 2019 : <http://www.european-elections.eu>
- European Parliament : <http://www.europarl.europa.eu/meps/en/home>
- EU MAG : <https://eumag.jp/>
- BBC HP : <https://www.bbc.com/news>
- JETRO : <https://www.jetro.go.jp>

※ここに掲載されているデータや資料は、投資等の判断となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資等の最終決定は、ご自身のご判断でなされるようお願いいたします。また、弊行はかかる情報の正確性や妥当性については責任を負いません。

※本レポートに関するお問合わせは、千葉銀行市場営業部海外支店統括グループ
(Tel:03-3270-8526、Email:kaigai_tokatsu@chibabank.co.jp) までご連絡下さい。